

記録的な大雨を受けての知事メッセージ

長野県では、72時間降水量が観測史上1位を記録する箇所が多数あるなど、記録的な大雨となっています。

これまでに人的被害を含む被害が発生しており、木曾川、天竜川、犀川では、氾濫危険水位を超過しているところもあり危険な状況が続いています。各河川の流域を含め県全体では、現在、23市町村で避難指示が出ております。

前線は、18日頃にかけて日本付近に停滞する見込みで、総雨量はさらに増えるおそれがあります。

県民の皆様におかれましては、今後とも、気象台が発する情報に注意するとともに、市町村からの避難指示等を踏まえ、避難を行ってください。また、特に、木曾川及び天竜川流域にお住まいの方は、現在、流域内のダム等による洪水調整を行っていますが、今後の雨の状況によっては、河川が急激に増水することもありますので、ただちに安全な場所への避難をお願いします。

現在、雨は小康状態にありますが、当分の間、河川は増水した状態が続きます。土砂災害の危険度は高い状態が続きます。県民の皆様には、避難を徹底し、危険な場所に近づかないようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の懸念もありますが、市町村が避難所での感染症対策を講じていますので、避難が必要な場合は、どうか、躊躇しないで避難してください。

令和3年8月15日（日）

長野県知事 阿部 守一